



# ネパール・ミカの会

平成11年秋号 NO.10 1999.10.10発行

ネパール・ミカの会 事務局 194-0035 町田市忠生2-5-36 こもれび堂内 tel 042-793-4170

町田発 国際ボランティア祭' 99

## 第2回夢広場

1999年10月23日(土)10:00AM ~

会場:東急広場

主催:第2回夢広場実行委員会 共催:町田国際協会  
後援:町田市・町田市教育委員会・町田商工会議所  
町田ボランティアセンター・国際協力事業団  
(社)町田青年会議所

## 会長挨拶

ネパールミカの会  
会長 齊藤 謹也

### 眼

海岸へ行くと子供達がたくさんゐる。  
その道々にも、  
みんな漁師や百姓の子だ  
貧しいなりを している  
然し 然し  
なんという美しい深い眼だろう  
なんといふ輝いてゐる眼だろう  
みんな生々している  
どんだんな小さな刺激も  
たちまち彼等の顔や身体にあらはれないではゐない  
驚いたり 笑ったり  
自分達 この町で見慣れない者が通ると  
その好奇心で一ぱいになった顔  
なにか待ちもうけてでもゐるよるな顔  
あ、その時  
自分達は眼を彼らの眼を露骨に感じるのだ  
あ、眼  
その眼は貧しさが一層光を与えてゐる気さへする

(「爽やかな空」所収)

この詩は、私の父の親友で、冬花亭・宮崎丈二(1897-1970)さんの大正八年(1919)作の詩です。「海岸」をネパールにおきかえてみると、そっくりあてはまり、私達が、子供等の目に魅かれて忘れ難く、ネパール行をくり返す心境になるように思われて、会報に紹介しました。ミカの会のミカはネパール語で『眼』を意味します。私達自身も、いきいきと、好奇心一ぱいに、眼を深く輝かせたいと思います。

さて、ネパールミカの会の今年度の活動も、順調に歩みだしています。すこしづつ調子が分かるようになってきました。会の活動も、ネパールの様子も、そして会員同士の意思疎通も、その調子が分かるようになって、落ち着きがでてきています。無我夢中で出会うもの全てに全力を出しきって、取り組んできた歩みが、二度目、三度目になり、着実に自信をもっていけるようになってきたように思えるのです。しかしこうすればこうなる。という自信はよいのですが、始めた情熱が、くり返しの中で失われないうようにしなければ、という自戒自省も必要かと思えます。心していきましょう。総会后、郵政省のボランティア預金の配分も決まり、ルンビニ3校の後者建設も始まりました。タンセンの図書支援も広がりをみせ、そして奨学金も応募者70名のテストを経て、6名が推薦されてきました。そして、9月中旬、中間調査に行かれた今村副会長、大谷事務局次長の感激をあらたにした報告が出てまいりました。10月23日(土)には、市内外のNGOを中心とした第2回夢広場を開催します。甲田木曾西郵便局長を要として、何度も実行委員会が芳村セミナービルで開かれ、準備が整いだしています。活動は広がり、深みをましています。しかしながら、私達の「何かネパールの子らにしてあげたい」という思いは強く、予算ギリギリ一杯に立っています。そして、郵政省、町田市等の補助は、当初見込みより削減されて、「自助努力」が求められています。知恵と体力と心でそれを補わねばなりません。会員におかれては、「いま一步」歩を進められて、自からお申し出をいただき、ご協力お願い致します。賛助金、バザー協力、会員拡大等々やれることはいっぱいあります。秋は特にいそがしいと思います。

私達は幸い釈尊生誕地ルンビニを中心とする支援を柱に活動しています。この縁・出会いは幸せなことです。最後に宮崎丈二さんの詩を再び紹介しておきます。

### 若い佛陀

早春のまだ暮れない空に  
新月はほんのりと浮かび  
木立は影のようにけがってゐる

私はそこに見た

## 若い佛陀

早春のまだ暮れない空に  
新月はほんのりと浮かび  
木立は影のようにけがってゐる

私はそこに見た  
あなたの静かに立ってゐる姿を

若い佛陀よ

憂ひつゝ、  
しかも優しさに満ち  
ほのぼのと明るく浄らかに

(「独座」所収)

明年3月、タライ平野に立つ白き校舎を見に行きましょう。胸をはって子らの笑顔に会いに行きましょう。夕日が美しいルンビニ地方を中心にして。

## 夢広場実行委員会開催に向け精力的に活動中 町田発 国際ボランティア祭 '99

### 第2回夢広場が10月23日(土)開催されます。

昨年に引き続き第2回目の開催となります。実行委員会が発足齋藤会長が実行委員長に就任され、実施にむけ精力的に準備が進んでおります。ミカの会からは副実行委員長に加藤誠一さん、事務局長に甲田さんが就任しております。名誉会長に寺田市長、町田国際協会が共催、そして後援に町田市、町田市教育委員会、町田商工会議所、町田ボランティアセンター、国際協力事業団、(社)町田青年会議所と充実したバックアップを頂けるようになりました。問題は内容で現在出展者、出演者との交渉中ですがより一層の充実が望まれます。会員の皆様のご意見当日のご協力を期待致します。



**ミカの会は出展者の一員として参加します。ネパールへの援助が順調に進む中、国際ボランティア祭でリーダーとして充実した出展をするためにも会員の皆様のご協力を重ねてお願い致します。**

9月15日より22日迄、大谷事務局次長と私の二人でネパールでの中間調査の為にルンビニ地方、タンセン、カトマンドウと、大忙しのかけ足旅をして来ました。予定の行動を前もってヌルプ・ラマ氏と大谷氏が綿密に打合わせ済みでしたので、大変順調に計画通り事が運び、とても能率の良い日々を送る事が出来ました。過去二度の訪問は、いづれも三月でしたので、今回の雨期明けすれすれの季節を心配したのですが、大雨は一度だけで、バイラワから山道をタンセンに向かう二時間が、一寸危険を感じたくらいで、無事で何よりでした。学校建設は現在進行中の現場及び、土地の取得に時間のかかった学校等色々有りましたが概ね予定通り完成の運びとなりそうで、来年三月には新築校ラッシュで、訪問団の行くころには子供達の喜ぶ顔が見られる事でしょう。各地共我々ミカの会に対する感謝と期待は日ましに高まり、尚一層の努力をしてこの活動の発展を目指さねばと新たな緊張感を覚えました。何と云ってもあの子供達の輝く瞳と、貧しくとも明るく学ぶ姿に接すると、彼らの明日のために何かをしてあげようという気持になるものです。未だ訪問団にご参加でない方は、是非次回は共に生きるよろこびを味わいに一緒に行きませんか。今回新たに訪れたカトマンドウの女子校は1300名の存校生で、ネパールでの女子教育の先駆けとして頑張っています。ここにチャリティーボウリング大会の寄金をもって図書等の支援をする事が決まりました。さて、新たな事業や、完成する学校等、又次年度もネパール教育支援のミカの会は一層の力を発揮する事が求められます。詳細については、別紙でご報告しますが、会員の皆様方は更に団結を強めて、バザーや会の行事に是非共々協力をお願い致します。



今回の中間調査にあたり調査項目を列挙したところ、項目の多さに些か心配をしながら出掛けたが、今村副会長、ラマ氏の誠実にして精力的な行動のお陰をもってほぼ完全に当初の目的を果たすことができた。まだ猛暑といえる中、訪れた小学校7校、大学3校、女子校2校、医療機関2ヶ所は、かなりハードなものであったが、訪れる先々での計画の順調な進行状況と、訪問することに深まる現地の人々との信頼の情に触れ、満ち足りた充実感が感じられた。

これもカトマンドゥー〜ルンビニ間350キロの山道をバイクで何回も往復し、酷暑の中、ぬかるみにタイヤを取られながら走り回り、誠意と使命感をもって事業の推進に当たられたラマ氏の実績とご苦労に改めて敬意を表したい。

各学校の視察にあたり、関係者から感謝の意を表した書状や挨拶をもらったが、その中でも、シリ、グルワニ、マイ小学校の五年生一同からのものは、嬉しさと共に僅かな期間であろうとも新しい校舎での授業を経験させてやりたいという焦りさえ感じた。

ふと立ち寄った部落の老人が『村に学校を建ててくれ本当にありがたく感謝している。その上部落を訪ねてくれて大変に嬉しい』との言葉に、村や学校関係者と違う地域の人々の素直な喜びに、ミカの会の行為が地域に浸透し理解されてきた証であり、村の人々が校舎建設作業に直接何らかの具体的なアクションに繋がってくる日が遠くないように思え、また、そうある光景を一日も早く見れることを願ってやまない。

ルンビニの子供達は輝く瞳に微笑みが増し、タンセンの子供たちは明るい微笑みに言葉が添えられる様になり、更に図書支援に女子校2校、校舎建設支援候補で小学校と中学校、AMDA-Nepalなど新たな接点が拡大しつつあり、会員各位の誠意の結束と資金の調達に更なるご尽力が大いに期待されていることを実感する旅でした。幸いにタンセン、シリナガルの丘からは、朝日に冴えるダウラギリ、アンナプルナの勇姿を望まれ、最高のビューポイントを発見し、ネパール料理のベストメニューを選び、赤だしと海苔ムスビや大盛の串揚げの穴場も開拓しておきました。

来年3月5日からの「第4次ネパール教育支援の旅」が予定されています。多くの感動と感激に触れる旅に、多数の皆さん方のご参加を期待します。尚、今回の中間調査の報告書、「'99年度ネパールミカの会中間報告」を作成しました。

事務局に保管してありますので、是非ご覧下さい。



# 第3回ネパール支援チャリティーボウリング大会報告書

1999.9.1 スペースレーンジャスコ相模原



優勝	亀井 乃理子	646pin
準優勝	若林 英子	643pin
3位	小田切 計彦	641pin
ハイゲーム	小田切 計彦	241pin



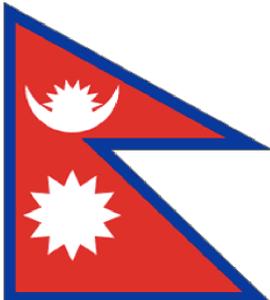
## スペースレーン相模原の熱い思いを *Nepal*の子供達に！

### チャリティー金額

ネパール・ミカの会	¥234,888.
トルコ震災援助金	¥30,000.
合 計	¥264,888.



全ミカの会の協力の協力を越える参加を頂き盛大に開催することが出来ました。ご賛同と規一  
趣旨に賛同、ご協力頂きました皆様のおかげと主催者一同改めて深く感謝申し上げます。本年より  
ネパール大使館の後援を頂き、ボランティア団体ミカの会との共催と少しでもしっかり支援できる  
体制を整備いたしました。  
皆様に提供頂いた賞品などは大変参加者に喜ばれ本大会を盛り上げております。ここに大会の様子  
とチャリティー金額をご報告し御礼とさせていただきます。





## 事務局・会計からの報告とお願い

会計 和田 泰子

### 援助金をご寄付くださった方のお名前 (H.11.4-9)

会員外 (株)リコー様、大谷和代様、鈴木紀子様、三井かな子様、中村勝彦様、  
増田つぎえ様、山田良二様、加藤和代様、高橋和子様、深沢義郎様、  
大森紀子様、石井慎一様

会員 今村旭様、片岡孟様、高原担様、大石トキ様、米山方雄様、川嶋喜久子様、  
若原浩様、井上恭一様、築城美津子様、柏木三夫様、大部正健様、  
小金井光雄様、木口容子様、石票田美恵子様、匿名希望様

### 品物をご寄付くださった方のお名前 (H.11.4-9)

会員外 斉藤聖子様、三苔久子様、和田八重子様

寄付金合計 ¥340,760. 有り難うございました。感謝いたします。

ミカの会の活動もこの所、飛躍的に発展し範囲を広げております。今年度は国際ボランティア預金から3校分の建設資金の援助がありました。3校分としては75万円ほど不足しております。ミカの会の一人一人が小さな力を出し合い資金捻出に取り込みましょう。現在、10月23日の夢広場に向けてバザー用の品物(古着は扱いません)を集めております。ご不要品等ありましたら事務局こねび堂までお届け下さい。また、当日のモモ、チャイの調理販売、バザーを成功させるには沢山の方々の力が必要です。ご協力お願い致します。

### 第4次ネパール支援の旅スケジュール

2000年3月5日 12日が予定されています。内容の充実のため委員会が設立されていますのでしばらくお待ち下さい。多くの皆様の参加を期待しております。

### 奨学金制度スタート

シリ・マズワニ、シリ・グルワニ・マイ、シリ・シリ・ラム小学校3校を対象に70名のテストを実施し選考、各校から5年生各2名合計6名の推薦状が提出された。国からの教科書の支給は3年生までであることが確認された。今年度は6名で奨学金制度をスタートさせます。皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

シリ・マズワニ小学校

Miss.Mina Kumai

Miss.Pabitra Tripathi

シリ・グルワニ・マイ小学校

Miss.Sumita Devi Munda

Miss.Bijawati ganeriya

シリ・シリ・ラム小学校

Mr.Jitendra Kumar Mishra

Mr.Ramdash Kurml

#### 【編集後記】

第2回夢広場を控えての発行は結構忙しい。会長始め原稿の提出は期限内にピッシト揃う。編集にも力が入る。良い循環に入ると作業していても心地よい。今村、大谷両氏の間接報告も現地でのハードな調査、そして調査報告素晴らしいの一言である。ミカの会そのものがそんな会員の強い意志と行動力で盛り上がって行くことでしょう。会報だけでは全てが伝えられなくて歯がゆい思いをしています。次回新年号には我こそはと原稿下さい。何十ページでもOK,意地でも出しますよ。

加藤誠一